



理想は高く
究むるは諸々の学

福島県立郡山高等学校 | 学校案内

Koriyama High School



学科紹介

探究科

Exploration course

「探究科」は、“夢を持って、自分の学びをデザインできる自立した学習者”の育成を目標とし、変化が速く、複雑・多様化する予測困難な社会の中で、自分の力と他者との協働によって、課題を解決に導こうとする、失敗を恐れない“学びの勇者”がつどい始動しました。5年後、10年後の少し先の未来図をイメージしながら、県内の他の高校にはない、先進的で深い学びが始まりました。3年後の進路目標は、国内の難関大学もよし、留学し日本の外へ飛び出すもよし。地域社会は言うまでもなく、広く世界へ羽ばたき、それぞれの置かれた場で考え活躍できる人材を育成していきます。この4月、1期生が入学しました。

Message



探究科1年次

今泉 純誠

郡山二中出身
探究部(理科班)

「論理はA地点からB地点まであなたを連れて行ってくれる。想像力は、あなたをどこへでも連れて行ってくれる。」これはアルベルト・アインシュタインの名言の一つです。この言葉が示すように、これからの社会では論理よりも創造力がより大きな価値を持つと思います。私は郡山高校の探究科への入学を決めました。

郡山高校の探究科は「自ら学びを設計し、個性と進路を追求する」という教育理念のもと、令和7年度から新たに始動した学科です。そんな探究科では、外部講師による特別講座や海外研修といった探究の機会が数多く設けられており、このような活動をとおして、ある問いに対し自分なりの答えを見つけたり、理解を深めたりすることができると思います。

探究科は全く新しい学科ですが、将来はここで過ごせて良かったと思えるはずだと確信しています。

Message



探究科1年次

渡邊妃奈子

守山中出身
ハンドボール部

私は、高校受験を控え、自分は将来何をしたいのか、そのために何を学ばいいのか、とても悩んでいました。そんな時、郡山高校に「探究科」が新設されることを知りました。「よつ葉のクローバー探究」、英語強化プログラムに興味を持ち、探究科で「なりた自分」を見つけたいと思い、郡山高校「探究科」へ入学しました。

「よつ葉のクローバー探究プログラム」は他校にないものであり、特に英語力強化により、語学力とプレゼンテーション力を培い、協働学習により、グローバルな視点で学ぶことができます。クロスカリキュラムの授業では、教科の枠を越えた学びを得ることができます。

そして私は、「なりた自分」を見つけるために教育コースへ入りました。ここでは、有名な大学の教授から講義を受け、教育について探究し、学びを深めることができます。私はこのコースのプログラムを受講する中で、教職の素晴らしさを知り、教師になるという夢を実現して行きたいと思います。

このように郡山高校では、沢山の活動を通し、様々な分野で学びを深めることができ、素晴らしい青春を謳歌することができます。皆さんも郡山高校「なりた自分」を見つけて、一緒に学びましょう！

特色

1

探究活動の充実

- 自分のキャリアの軸を知り、科目選択、探究活動、進路へつなげる。



藤本正樹氏の講演



地域人材職業人講話



東大研修(赤門前で)

特色

2

DXハイスクール

(文部科学省採択事業)

- 探究や授業での様々なICT機材の活用
- より深く高度な学びの実現

特色

3

英語力強化プログラム

- 多読プログラムによる英語力アップ
- 各種検定試験へのチャレンジ
- 海外派遣事業への応募、参加

特色

4

魅力的な科目の導入

- クロスカリキュラム:複数の科目を融合
例) ワールドリテラシー、シチズンシップなど
- コラボレーション授業:関連する内容を教科を超えて学ぶ授業
例) 情報+数学、家庭+公民、国語+世界史など

郡高“よつ葉のクローバー”探究の流れ

3年次

- 研究のまとめ
希望者は大学入試(総合型選択)の準備

2年次

“よつ葉のクローバー探究”

- 一人ひとりの興味・関心・進路等にあわせ、テーマを設定し探究を深化させる
- 県内外の大学生をチューターとして招いたり、大学・企業等と連携も行う

1年次

- 自分の将来をイメージ、デザインする
- 探究の基礎・方法を知る



学科紹介

普通科

General course

普通科は、昭和52年、郡山高校の誕生と共に開設されました。当初から、「文武両道」の目標のもと、生徒たちは、のびのびと学校生活を送っていました。時代とともにクラス数は変わり、令和7年度入学生から、普通科は4クラスになりました。

1年次は全員共通のカリキュラムですが、2年次からは文系・理系に分かれて、それぞれの目標に向かい学習します。



普通科3年

熊倉 柚

郡山五中出身
空手道部

郡山高校は、学業と部活動の両方を大切にできる学校です。私も「文武両道」の精神に惹かれ、この場所で新たな一歩を踏み出しました。

最初は環境の変化に戸惑うこともありましたが、体育祭や修学旅行といった行事をとおして、少しずつ仲間との絆が深まり、今ではかけがえのない日々を過ごしています。

高校生活は、自分自身を大きく成長させてくれる時間です。ここでの経験が、きっと未来への力になると思います。私は、友人や先生方の協力のおかげで英語検定準1級を取得することができました。皆さんも、それぞれのペースで大切な時間を郡山高校で築いてください。



Message



普通科1年次

井田川智希

郡山六中出身
バスケットボール部

僕は郡山高校に入学して、友達ができるか、授業についていけるかがとても不安でした。新しい環境に緊張していましたが、活気あるクラスメイト、明るく優しい先輩方、そして、先生方がとても親切で、少しずつ緊張がほぐれ、今では授業のペースにも慣れて毎日楽しく充実した高校生活を送っています。

僕はこれからの3年間、高次元の文武両道を目標にし、自分をもっと成長させていきたいと思っています。高校生活は一度きりです。皆さんも郡山高校で自分だけの青春を楽しんでみませんか？



Message



普通科2年文系

鈴木 文也

安積二中出身
サッカー部

私は勉強と部活動を両立する「文武両道」という校風に惹かれ、郡山高校へ入学することを決めました。

郡山高校での生活はとても充実しています。学習面では、「大学進学」を目指す仲間たちと日々質が高く、楽しい授業を受けています。また、郡山高校は生徒一人一人の進路実現のために様々な形でサポートしてくれます。部活動では、今年完成したばかりの人工芝のグラウンドという恵まれた環境で活動することができています。放課後には、学校周辺にある多くの飲食店などに行くことも楽しみの一つです。

このように、郡山高校は「文武両道」を実践するのに適した環境が整っています。皆さんもぜひ郡山高校で最高の仲間・友達を作って、思い出に残る高校生活を過ごしてみませんか。

Message



普通科2年理系

福島 佳歩

西袋中出身
チアダンス部

私は、オープン・ザ・郡高で「ここに入学したい!」と思い、自分の直感を信じて郡山高校に入学しました。学校から少し距離のある場所から通っているという事もあり、入学した時点では友達も少なく不安でいっぱいでしたが、とても優しく面白い人ばかりで、今では部活動やクラスなどを通してたくさんの人と毎日楽しく過ごしています。郡山高校といえば「文武両道」はもちろんですが、部活に入っている人もそうでない人も、一人ひとりがそれぞれ何かに一生懸命頑張っている点が良さだと、一年間過ごしてきて思いました。楽しいことばかりではなく辛いこともあります。だからこそ楽しい時間がより楽しく思えたり、辛いことを乗り越えた後に達成感を感じることができ、高校生活を終えた時にまた戻りたいなあと思えるようになるのだと感じています。みなさんも一緒に充実した高校生活を送りませんか？郡山高校でお待ちしています！

学科紹介

英語科

English course

英語科は、昭和63年に学科開設し現在に至る福島県唯一の学科です。英語科独自の文系大学進学者向けのカリキュラムが組まれています。(令和7年度入試より募集停止になりました。)

教員および教育関連の職業や教育をとりまく課題について考えます。
現在82名が登録しています。今年度も、福島大学三浦浩喜学長の基調講演からプログラムが始まりました。

◎ 郡山高校教育コースの特徴 ◎



三浦学長の講演



名古屋大 内田教授の講義

1 多様な学びのあり方への理解

例) 聴覚支援学校との交流と協働
教育関連産業について

2 教育界をとりまく課題の理解と探究

例) 文部科学省若手官僚による講話とワークショップ
名古屋大学大学院 内田 良 教授による講義と探究

3 世界の教育について

例) OECDとの連携によるワークショップ

4 その他

例) 県教育委員会主催のプログラムへの参加

Message



英語科 2 年

国分 葵

富田中出身
陸上競技部

皆さんは、将来の夢について考えたことがありますか？私は中学校の時、教師という仕事に興味がありました。しかし当時は、教師の仕事内容についてあまり理解していませんでした。そこで、志望校であった郡山高校には「教育コース」というプログラムがあると聞き、そこで教師についての理解が深まると思い入学しました。

教育コースの主な内容は、有名大学教授や講師による講演、大学や特別支援学校への訪問です。私が1番印象に残っているプログラムは、名古屋大の内田教授の講演です。その内容は現代の教師が抱える問題でした。例として、長時間労働、教員不足、生徒との関わり方などです。私は、そこで普段あまり考えたことの無い教師の問題について理解することができました。また、教師のやりがい、生徒に言われて嬉しかった言葉についても聞くことができました。この講演をとおして私は教師になりたいという気持ちが高まりました。

将来教師を目指している人も、気になっている人もぜひ教育コースに参加してみてください。将来の夢が見つかる手掛かりになると思います。

Message



英語科 3 年

鈴木 凛花

仁井田中出身
合唱部

私は、たくさんの先生方と関わる中で教師という職業に興味を持つようになりました。今までの経験を活かし、色々なことを学んだり、音楽の楽しさを子どもたちに伝えていきたいと思って郡山高校に入学しました。

教育コースでは教育に携わる大学の教授や文部科学省の方々からお話を聴いたり、実際に教育現場に行って子どもたちとの関わりを通して活動することができます。教育について深く学び、自ら探究するだけでなく、今まで講演を聴いて学んできたことを「実践」できることはとても貴重な経験だと感じています。また、このような環境に身を置けることがこのコースの魅力の一つだと思います。

多方面の視点から子供達にたくさんのことを教え、教育について一生突き詰めていける教師になれるように、今までの活動や学校生活で学んだことを活かしてこれからも日々努力と感謝を忘れずに学び続けたいです。

将来教師になりたいという方はもちろん、教育について関心のある方はこのコースで勉強してみませんか？

OECD国際共創プロジェクトやさまざまな国際交流

絶えず変化し、複雑・予測が困難な時代に必要とされる、問題解決力、思考力、協働力、企画力、積極性、そして、英語を軸としたコミュニケーション力を向上させるプログラムです。ポルトガル、ウクライナなどの高校生との対面やオンラインでの交流、各国大使館との連携などの取り組みを行っています。



ウクライナの高校生と震災学習



レソト大使館との交流

進路状況&卒業生の合格体験記

令和6年度卒業生の進路実績は、次の表のとおりです。また、合格体験記では陸上競技部に所属しインターハイに出場する一方で、学習も常にトップを維持し、まさに「文武両道」を実践した近内愛理さんの体験談を紹介します。

主な進路先一覧

※令和7年3月卒業生

【国公立大学】

大学名	現役	既卒	合計
岩手大学	1		1
宮城教育大学	1		1
山形大学	10	1	11
福島大学	17		17
宇都宮大学	2		2
群馬大学	1		1
埼玉大学	1		1
千葉大学	2		2
東京学芸大学	1		1
東京外国語大学	1		1

大学名	現役	既卒	合計
新潟大学	7		7
静岡大学	1		1
宮城大学	1		1
会津大学	4	1	5
福島県立医科大学	10		10
高崎経済大学	2		2
横浜国立大学	1		1
都留文科大学	3		3
その他(国公立大)	7		7
国公立大学 合計	73	2	75

【私立大学】

大学名	現役	既卒	合計
青山学院大学	2		2
学習院大学	1		1
上智大学	1		1
中央大学	3	1	4
法政大学	6		6
明治大学	2		2
関西大学		2	2
その他(私立大学)	283	5	288
私立大学 合計	298	8	306

卒業生の合格体験記



「受験を通して学んだこと」

私は二つの目標を持って郡山高校に入学しました。一つは「走り高跳びでインターハイに出場すること」、もう一つは「難関国公立大学に合格すること」です。本格的に受験勉強を始めたのは高3の4月でしたが、全国大会出場の出場券を手に入れた7月までは、陸上に捧げる時間のほうが多かったように思います。部活動を引退してからは、空いている時間のすべてを受験勉強に充てました。放課後の課外を全部受けたのち、自宅に帰ってからは毎日5～7時間は学習していました。共通テスト対策の演習問題でひととおり基礎力を固め、11月からは二次対策の個別添削指導をしていただきました。共通テスト後の自己採点では、目標点には届きませんでしたが、勉強の手応えと残された二次試験までの日数を勘案して「まだまだ伸びる！」と自分を信じることに決め、そのまま「前期は京大、後期は東京外大」で出願しました。共テが終わってからは、午前は講座を受け、午後は添削をしてもらい、絶え間なく勉強していました。一日に14時間勉強するのが当たり前の生活でした。自由登校になり、受験が終わった友達が学校に来なくなったため、気晴らしの機会が失われたこのころが最も精神的につらい

東京外国語大学

国際社会学部 国際社会学科
イベリア・ラテンアメリカ専攻(一般後期)

近内 愛理 さん



時期でした。しかし、そんな時に職員室に行けば多くの先生方が励ましや労いの言葉をかけてくださいました。温かい先生方に恵まれて自分は本当に幸せだと思うと同時に、応援してくださる方々のためにも絶対に合格しようという思いが改めて湧いてきました。そうして迎えた前期試験。受験の手応えは悪くなく、合格する可能性もあるのではないかと期待していました。しかし、結果は不合格。その日は涙が止まりませんでした。その二日後の後期日程試験は、精神的にどん底の状態、気持ちの切り替えができないまま臨みましたが、これまで必死に受験勉強に打ち込んできた成果を発揮し、無事東京外大に合格することができました。

最後になりますが、熱心に指導していただき、心の支えにもなってくださった先生方に感謝の気持ちを贈ります。先生方がいらっしやなかったら、私はきっと途中で心が折れていたと思います。これからの人生に繋がっていく大学受験という一大イベントを、郡高の先生方に支えていただけたことに心から感謝しています。最後まで読んでいただきありがとうございました。

部活動

部活動紹介

郡山高校には、様々な部活動があります。全国大会の常連である、陸上競技部、弓道部、合唱部、放送部、チアダンス部をはじめ、野球やサッカー、吹奏楽など多くの部活動が活躍しています。



空手道部



バレーボール部



チアダンス部



バドミントン部



陸上競技部



野球部



テニス部



サッカー部



ハンドボール部



弓道部



バスケットボール部



卓球部



吹奏楽部



合唱部



福島県立郡山高等学校

〒963-0201 福島県郡山市大槻町字上篠林3番地
TEL. 024 (951) 0215 FAX. 024 (951) 8911
ホームページアドレス <https://koriyama-h.fcs.ed.jp/>



HP



note

